

平成26年7月以前の基盤地図情報データのファイル名について

提供データセットのファイル名定義規則

平成26年7月以前の基盤地図情報データのファイル名は、以下の仕様に基づいて設定されている。なお、記号の凡例は次のとおりである。

aa = 都道府県コード
bbb = 市区町村コード
ss = 提供クラス番号
ttt = 連番

大文字及び拡張子の.xml は固定文字列である。

1. 基盤地図情報データ（縮尺レベル2500）データ

JPGIS2.0（GML）形式
ZIPファイル
FG-GML-aabbb-ALL-Zttt.zip

2. 基盤地図情報（縮尺レベル25000）データ

JPGIS2.0（GML）形式
ZIPファイル
FG-GML-aa-ALL-Zttt.zip

3. 基盤地図情報（街区の境界線及び代表点）データ

JPGIS2.0（GML）形式
ZIPファイル
FG-GML-aabbb-13-Zttt.zip

「縮尺レベル 2500」 (市区町村)

固定	ファイル形式	固定	市区町村コード	固定	提供クラス番号	固定	ファイル分割番号
FG-	GML	-	00000 (5桁の市町村コード)	-	ALL	-	データ種別ごとに"Z001"から連番

「縮尺レベル 25000」 (都道府県)

固定	ファイル形式	固定	都道府県コード	固定	提供クラス番号	固定	ファイル分割番号
FG-	GML	-	"01"~"47" (2桁の都道府県コード)	-	ALL	-	データ種別ごとに"Z001"から連番

「街区の境界線及び代表点」 (市区町村)

固定	ファイル形式	固定	市区町村コード	固定	提供クラス番号	固定	ファイル分割番号
FG-	GML	-	00000 (5桁の市町村コード)	-	13	-	データ種別ごとに"Z001"から連番